



## 2021年4月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

2020年12月14日

上場会社名 Hamee株式会社 上場取引所 東  
 コード番号 3134 URL <https://hamee.co.jp/>  
 代表者(役職名) 代表取締役社長 (氏名) 樋口 敦士  
 問合せ先責任者(役職名) 執行役員 経理・財務部マネージャー (氏名) 櫻井 達也 (TEL) 0465-42-9083  
 四半期報告書提出予定日 2020年12月14日 配当支払開始予定日 —  
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有  
 四半期決算説明会開催の有無 : 有 (証券アナリスト、機関投資家向け)

(百万円未満切捨て)

## 1. 2021年4月期第2四半期の連結業績(2020年5月1日~2020年10月31日)

## (1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2021年4月期第2四半期	5,621	3.8	992	17.8	968	10.4	671	11.5
2020年4月期第2四半期	5,413	16.7	842	80.5	877	86.8	602	78.5

(注) 包括利益 2021年4月期第2四半期 712百万円(48.3%) 2020年4月期第2四半期 480百万円(34.2%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2021年4月期第2四半期	42.54	42.16
2020年4月期第2四半期	38.02	37.73

## (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2021年4月期第2四半期	8,682	5,451	61.5
2020年4月期	8,096	4,824	57.9

(参考) 自己資本 2021年4月期第2四半期 5,344百万円 2020年4月期 4,685百万円

## 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2020年4月期	—	0.00	—	7.00	7.00
2021年4月期	—	0.00			
2021年4月期(予想)			—	8.00	8.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

## 3. 2021年4月期の連結業績予想(2020年5月1日~2021年4月30日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	12,832	13.3	1,778	1.9	1,764	0.4	1,260	17.9	79.84

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

(注) 当社は年次で業績管理を行っているため、業績予想につきましては通期のみの記載となります。

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 : 無  
(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動)  
新規 一社(社名) 、除外 一社(社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	2021年4月期2Q	16,212,400株	2020年4月期	16,135,600株
② 期末自己株式数	2021年4月期2Q	377,502株	2020年4月期	343,925株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	2021年4月期2Q	15,794,423株	2020年4月期2Q	15,852,574株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、当社としてその実現を約束する趣旨のものではありません。実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件および業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料P3「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

## ○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	8
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	9
(継続企業の前提に関する注記)	9
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	9
(セグメント情報等)	10
(重要な後発事象)	10

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

### (1) 経営成績に関する説明

当第2四半期連結累計期間におけるわが国経済は、新型コロナウイルス感染症の影響によって緊急事態宣言が発出されていた2020年4月と比べると緩やかな回復傾向がみられたものの、引き続き不透明な事業環境が継続しました。

このような経営環境のもと、コマース事業における卸販売につきましては、当第1四半期連結累計期間から引き続き同感染症拡大の影響に伴う消費者の外出自粛や実店舗の短縮営業・臨時休業等に加え、新型iPhoneの発売が例年より遅い時期であったこと等の影響により引き続き厳しい状況であったものの、日常生活の変容による巣ごもり消費の活発化やEC利用へのデジタルシフト等の影響を受け、同事業における小売およびプラットフォーム事業においては市場のニーズを引き続き捉えたことにより事業を大きく成長させることができました。

以上の結果、当第2四半期連結累計期間における売上高は5,621,882千円(前年同四半期比3.8%増)、営業利益は992,825千円(同17.8%増)、経常利益は968,920千円(同10.4%増)、親会社株主に帰属する四半期純利益は671,902千円(同11.5%増)となりました。

セグメントごとの状況は次のとおりであります。

#### ① コマース事業

国内卸販売につきましては、新型コロナウイルス感染症拡大の影響に伴う消費者の外出自粛や実店舗の短縮営業・臨時休業等に加え、新型iPhoneの発売が例年より遅い時期であったこと等の影響により厳しい状況ではあるものの、第1四半期連結会計期間と比較し当第2四半期連結会計期間は、感染防止策とのバランスを取りながら経済活動が再開され、少しずつ回復へと向かって動き出しました。一方、国内小売につきましては、同感染症の影響が急拡大した第1四半期連結会計期間と比較し落ち着きを見せているものの、EC市場は同感染症発生前と比べ拡大しており、前年同四半期比17.0%増と大幅増収となりました。販路におけるポートフォリオのバランスが取れていたことが、安定的な事業運営に繋がった結果となりました。その状況下で、年間約300万個を販売するiFaceシリーズの中でも主力商品である「iFace Reflection (リフレクション)」が、「2020楽天年間ランキング」のスマートフォン・タブレットジャンル部門で第1位に輝き、市場における存在感を示しました。また、新型iPhone商戦においても、発売時期の変更はあったものの、新型iPhone関連商品の初速は当初想定を上回っている等、好調な側面を見せております。

海外市場について、米国においては同感染症の影響により、国内同様に引き続き小売が好調に推移し、前年同四半期を上回る結果となりました。また、世界的な人気アーティストのキャラクターライセンスを日本及び北米で取得し、iFaceの北米展開を加速させるため、コラボレーション商品の準備を着実に進めました。

以上の結果、コマース事業の当第2四半期連結累計期間の売上高は4,425,659千円(前年同四半期比0.4%減)、セグメント利益(営業利益)は比較的利益率の高い小売が大幅に伸びたこと、またグループ全体におけるサプライチェーンの見直し等によりセグメント利益率の改善が進み、1,223,658千円(同14.5%増)となりました。

#### ② プラットフォーム事業

前述のコマース事業における国内小売と同様、拡大するEC市場の影響を受け、ネクストエンジン顧客企業の受注処理件数も増加する流れとなり、当該トランザクションに紐づく従量課金制としているネクストエンジンの売上も引き続き好調に推移しました。顧客の新規獲得も好調に進み、収益の増加に貢献しました。その状況下で、前連結会計年度にて取り組んでおりましたコールセンター業務のアウトソーシングにより、カスタマーサポートに従事していた社内リソースの9割以上をカスタマーサクセス活動に取り組めるよう、無料体験期間から有料契約への契約率および解約率の改善を目的とした組織変更をしました。

これらの活動の結果、総契約数は4,351社(前連結会計年度末比354社増、自社調べ)となりました。また、高い限界利益率による利益の押し上げ効果もあり、前年同四半期比56.3%の大幅増益となりました。

なお、EC事業者向け販売支援コンサルティングを提供するHameeコンサルティング株式会社について、コンサルタントの採用状況が改善されたことに伴い、既存のコンサルタントが顧客対応に注力出来たことにより、継続的に顧客数を伸ばすことが出来ました。また、新たな採用活動に対する費用支出が抑制されることにより、採用活動に伴う経費が減少しました。結果として、当第2四半期連結累計期間において増収、増益となりました。

これらの結果、プラットフォーム事業の当第2四半期連結累計期間の売上高は1,087,403千円(前年同四半期比21.1%増)、セグメント利益(営業利益)は452,685千円(同68.0%増)となりました。

## ③ その他

コマース事業、プラットフォーム事業のいずれにも明確に分類できない新たなサービスに係るものであり、ふるさと納税支援サービスやネクストエンジンのメイン機能に紐づかないEC事業者向けのサービス、小学生向け見守りモバイル端末「Hamic POCKET (はみつくポケット)」、エシカルネットショップ「RUKAMO」等が含まれます。

特にふるさと納税支援サービスは、引き続き伸長したため、当第2四半期連結累計期間の売上高は109,477千円(前年同四半期比39.1%増)となりました。一方セグメント損益(営業損益)は、2021年1月発売予定であるHamic POCKET等への先行投資により168,467千円の損失(前年同四半期は81,929千円の損失)となりました。

## (2) 財政状態に関する説明

## ① 資産、負債及び純資産の状況

当第2四半期連結会計期間末の資産につきましては、前連結会計年度末と比べ586,402千円増加し、8,682,928千円となりました。これは主に、配当金の支払い、自己株式の取得等により現金及び預金が90,704千円減少した一方、売上高の増加等により受取手形及び売掛金が598,395千円増加、新型iPhone等の新製品に対応した金型の取得により工具、器具及び備品が102,647千円増加したこと等の結果によるものであります。

負債につきましては、前連結会計年度末と比べ40,484千円減少し、3,231,676千円となりました。これは主に、未払法人税等の減少57,412千円等によるものであります。前年度に引き続き、新型コロナウイルス感染症拡大への対策として、経営の安定性を図るため、金融機関からの借入金により手元流動性を厚くしており、短期借入金は1,611,637千円となっております。

純資産につきましては、前連結会計年度末と比べ626,886千円増加し、5,451,251千円となりました。これは主に、親会社株主に帰属する四半期純利益671,902千円の計上、ストックオプションの行使に伴う資本金及び資本準備金の増加各43,876千円、剰余金の配当110,541千円、自己株式の増加50,478千円等によるものであります。

## ② キャッシュ・フローの状況

当第2四半期連結会計期間末における現金及び現金同等物(以下「資金」という。)は、前連結会計年度末に比べ90,704千円減少し、3,362,592千円となりました。

当第2四半期連結会計期間末における各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は次のとおりであります。

## (営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動の結果得られた資金は181,545千円(前年同四半期は321,834千円の収入)でありました。これは主に、税金等調整前四半期純利益964,515千円、減価償却費140,957千円等の収入要因に対し、売上債権の増加589,232千円、前渡金の増加61,611千円、法人税等の支払額421,268千円等の支出要因があったことによるものであります。

## (投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動の結果使用した資金は155,100千円(前年同四半期は159,716千円の支出)でありました。これは主に、有形固定資産の取得91,350千円、無形固定資産の取得57,683千円等の要因によるものであります。

## (財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動の結果使用した資金は130,419千円(前年同四半期は509,459千円の支出)でありました。これは主に、長期借入金の返済24,018千円、自己株式の取得による支払い65,116千円、配当金の支払い110,541千円等の支出要因があったことによるものであります。

## (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

業績予想につきましては、2020年6月12日に公表いたしました通期連結業績予想に変更はありません。

## 2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

## (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2020年4月30日)	当第2四半期連結会計期間 (2020年10月31日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	3,453,297	3,362,592
受取手形及び売掛金	1,230,062	1,828,458
商品	1,054,844	1,012,169
仕掛品	3,382	18,393
原材料及び貯蔵品	5,207	7,116
その他	523,676	624,928
貸倒引当金	△11,723	△21,481
流動資産合計	6,258,748	6,832,177
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	204,725	205,782
減価償却累計額	△45,517	△54,465
建物及び構築物(純額)	159,208	151,317
工具、器具及び備品	440,696	543,344
減価償却累計額	△329,805	△382,951
工具、器具及び備品(純額)	110,891	160,392
建設仮勘定	299,015	305,478
有形固定資産合計	569,114	617,189
無形固定資産		
のれん	514,544	422,517
ソフトウェア	230,164	200,557
商標権	16,577	15,054
その他	28	28
無形固定資産合計	761,315	638,158
投資その他の資産		
投資有価証券	15,342	18,677
関係会社株式	43,200	46,244
繰延税金資産	289,000	362,808
その他	159,803	179,307
貸倒引当金	—	△11,635
投資その他の資産合計	507,347	595,402
固定資産合計	1,837,777	1,850,750
資産合計	8,096,525	8,682,928

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2020年4月30日)	当第2四半期連結会計期間 (2020年10月31日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
買掛金	166,127	145,689
短期借入金	1,600,000	1,611,637
1年内返済予定の長期借入金	48,036	48,036
未払金	660,915	645,832
未払費用	182,402	211,996
未払法人税等	453,119	395,707
賞与引当金	2,789	3,008
返品調整引当金	6,716	3,986
ポイント引当金	2,414	2,630
その他	23,529	43,657
流動負債合計	3,146,051	3,112,183
固定負債		
長期借入金	91,889	67,871
退職給付に係る負債	9,365	29,315
その他	24,853	22,306
固定負債合計	126,108	119,492
負債合計	3,272,160	3,231,676
純資産の部		
株主資本		
資本金	536,677	580,553
資本剰余金	456,677	519,295
利益剰余金	4,166,941	4,728,302
自己株式	△313,117	△363,596
株主資本合計	4,847,178	5,464,555
その他の包括利益累計額		
為替換算調整勘定	△161,192	△120,233
その他の包括利益累計額合計	△161,192	△120,233
新株予約権	138,380	106,930
純資産合計	4,824,365	5,451,251
負債純資産合計	8,096,525	8,682,928

## (2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

## 四半期連結損益計算書

## 第2四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自2019年5月1日 至2019年10月31日)	当第2四半期連結累計期間 (自2020年5月1日 至2020年10月31日)
売上高	5,413,485	5,621,882
売上原価	2,461,272	2,155,876
売上総利益	2,952,213	3,466,006
返品調整引当金戻入額	6,807	6,716
返品調整引当金繰入額	5,234	3,986
差引売上総利益	2,953,786	3,468,736
販売費及び一般管理費	2,110,841	2,475,911
営業利益	842,945	992,825
営業外収益		
受取利息	428	384
保険返戻金	19,351	—
受取補償金	2,806	6,609
持分法による投資利益	9,585	1,529
為替差益	8,976	—
その他	1,170	1,572
営業外収益合計	42,319	10,094
営業外費用		
支払利息	883	5,229
支払保証料	3,191	2,749
為替差損	—	17,162
その他	3,400	8,857
営業外費用合計	7,475	33,999
経常利益	877,788	968,920
特別利益		
固定資産売却益	—	370
投資有価証券売却益	—	4,999
新株予約権戻入益	2,516	1,258
特別利益合計	2,516	6,628
特別損失		
固定資産除却損	1,272	—
投資有価証券評価損	—	10,164
為替換算調整勘定取崩損	—	868
特別損失合計	1,272	11,032
税金等調整前四半期純利益	879,032	964,515
法人税、住民税及び事業税	322,392	364,888
法人税等調整額	△46,008	△72,275
法人税等合計	276,384	292,613
四半期純利益	602,648	671,902
親会社株主に帰属する四半期純利益	602,648	671,902



## 四半期連結包括利益計算書

## 第2四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自2019年5月1日 至2019年10月31日)	当第2四半期連結累計期間 (自2020年5月1日 至2020年10月31日)
四半期純利益	602,648	671,902
その他の包括利益		
為替換算調整勘定	△122,105	40,959
その他の包括利益合計	△122,105	40,959
四半期包括利益	480,542	712,862
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	480,542	712,862
非支配株主に係る四半期包括利益	—	—

## (3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自2019年5月1日 至2019年10月31日)	当第2四半期連結累計期間 (自2020年5月1日 至2020年10月31日)
<b>営業活動によるキャッシュ・フロー</b>		
税金等調整前四半期純利益	879,032	964,515
減価償却費	147,458	140,957
のれん償却額	43,823	96,604
有形固定資産除却損	1,272	—
有形固定資産売却損益(△は益)	—	△370
保険返戻金	△19,351	—
投資有価証券評価損益(△は益)	—	10,164
投資有価証券売却損益(△は益)	—	△4,999
貸倒引当金の増減額(△は減少)	△415	20,929
ポイント引当金の増減額(△は減少)	345	215
賞与引当金の増減額(△は減少)	△3,528	219
返品調整引当金の増減額(△は減少)	△1,572	△2,730
退職給付に係る負債の増減額(△は減少)	13,787	19,367
受取利息及び受取配当金	△428	△384
支払利息	883	5,229
持分法による投資損益(△は益)	△9,585	△1,529
為替差損益(△は益)	△239	△183
在外子会社清算に伴う為替換算調整勘定取崩損	—	868
売上債権の増減額(△は増加)	△361,540	△589,232
たな卸資産の増減額(△は増加)	△75,012	24,775
仕入債務の増減額(△は減少)	△52,251	△22,065
前渡金の増減額(△は増加)	△46,899	△61,611
預け金の増減額(△は増加)	37,879	687
未払金の増減額(△は減少)	63,643	15,972
未払費用の増減額(△は減少)	△14,597	29,115
その他	△123,487	△39,065
小計	479,215	607,450
利息及び配当金の受取額	310	384
利息の支払額	△705	△5,019
法人税等の支払額	△156,985	△421,268
営業活動によるキャッシュ・フロー	321,834	181,545
<b>投資活動によるキャッシュ・フロー</b>		
事業譲受の条件付取得対価の支払額	△1,916	—
有形固定資産の取得による支出	△98,793	△91,350
有形固定資産の売却による収入	—	370
無形固定資産の取得による支出	△83,577	△57,683
投資有価証券の取得による支出	△10,000	△14,250
投資有価証券の売却による収入	—	5,000
保険積立金の解約による収入	56,850	—
その他	△22,278	2,812
投資活動によるキャッシュ・フロー	△159,716	△155,100
<b>財務活動によるキャッシュ・フロー</b>		
短期借入金の純増減額(△は減少)	△300,000	11,694
長期借入金の返済による支出	△36,488	△24,018
株式の発行による収入	704	57,561
自己株式の取得による支出	△70,145	△65,116
配当金の支払額	△103,530	△110,541
財務活動によるキャッシュ・フロー	△509,459	△130,419
現金及び現金同等物に係る換算差額	△55,706	13,269
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	△403,048	△90,704
現金及び現金同等物の期首残高	1,660,313	3,453,297
現金及び現金同等物の四半期末残高	1,257,264	3,362,592

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

## 【セグメント情報】

## I 前第2四半期連結累計期間(自 2019年5月1日 至 2019年10月31日)

## 1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント			その他 (注)1	合計	調整額 (注)2	四半期連結 損益計算書 計上額 (注)3
	コマース 事業	プラット フォーム 事業	計				
売上高							
外部顧客への売上高	4,443,230	891,527	5,334,757	78,727	5,413,485	—	5,413,485
セグメント間の 内部売上高又は振替高	—	6,235	6,235	—	6,235	△6,235	—
計	4,443,230	897,762	5,340,993	78,727	5,419,721	△6,235	5,413,485
セグメント利益又は損失(△)	1,068,294	269,412	1,337,706	△81,929	1,255,776	△412,831	842,945

(注)1 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、ふるさと納税支援サービス、ネクストエンジンのメイン機能に紐づかないEC事業者向けのサービス等を含んでおります。

(注)2 セグメント利益又は損失(△)の調整額△412,831千円は主に各報告セグメントに配分していない全社費用であり、主に一般管理費であります。

(注)3 セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業利益と一致しております。

## 2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

## II 当第2四半期連結累計期間(自 2020年5月1日 至 2020年10月31日)

## 1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント			その他 (注)1	合計	調整額 (注)2	四半期連結 損益計算書 計上額 (注)3
	コマース 事業	プラット フォーム 事業	計				
売上高							
外部顧客への売上高	4,425,659	1,086,745	5,512,404	109,477	5,621,882	—	5,621,882
セグメント間の 内部売上高又は振替高	—	658	658	—	658	△658	—
計	4,425,659	1,087,403	5,513,062	109,477	5,622,540	△658	5,621,882
セグメント利益又は損失(△)	1,223,658	452,685	1,676,344	△168,467	1,507,877	△515,052	992,825

(注)1 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、ふるさと納税支援サービス、ネクストエンジンのメイン機能に紐づかないEC事業者向けのサービス等を含んでおります。

(注)2 セグメント利益又は損失(△)の調整額△515,052千円は主に各報告セグメントに配分していない全社費用であり、主に一般管理費であります。

(注)3 セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業利益と一致しております。

## 2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

(重要な後発事象)

該当事項はありません。